

第 153 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

議事概要

日 時：令和 4 年 3 月 9 日（水）15：30～16：30

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

・会議の概要

<報告事項>

- ◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がり状況、医療提供体制等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。

<議題>

- ◇ 議題（1）について検討した結果、八重山圏域に対し「コロナ感染拡大警報」を発出し、感染拡大防止について呼びかけることを決定した。

<その他>

- ◇ 総括情報部から、オミクロン株 BA.2 の発生について報告があった。

1 参加者

玉城 知事、照屋 副知事、金城 知事公室長、池田 総務部長、儀間 企画調整統括監、松田 環境部長、小林 県警警備部長、大城 保健医療部長、座安 生活企画統括監、下地 農政企画統括監、金城 土木企画統括監、下地 産業振興統括監、宮城 文化観光スポーツ部長、大城 会計管理者、金城 教育長、我那覇 病院事業局長、長濱 企業企画統括監、諸見里 医療企画統括監、糸数 保健衛生統括監、高山 政策参与、テレビ会議システム利用：木村 宮古保健所長、比嘉 八重山保健所長

2 報告事項

（1）沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から最新の新規陽性者及び療養者の状況について報告【資料 1】
 - ✓ 3/8 の新規発生 824 名、合計 105,878 名、入院中 249 名、うち重症 2 名、うち中等症 123 名、入院・療養等調整中 677 名、宿泊施設療養中 589 名、自宅療養 4,837 名、入院勧告解除確認中 8 名で療養中患者計 6,360 名となっている。

（2）米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から、米軍基地内における発生状況について報告。【資料 2】

- ✓ 3/8 時点、米軍基地内で 15 名。
- ✓ 12/15 以降、米軍基地において 8,111 名の陽性者が確認されている。

(3) 沖縄県内及び全国の感染状況について【資料 3、3-1~3-10】

- 総括情報部から、警戒レベル判断指標の状況や各種分析資料について報告。
 - ✓ 判断指標について、新規陽性者数（直近 1 週間合計）はレベル 4、病床使用率はレベル 2、重症者用病床使用率はレベル 1 となっている。
 - ✓ 直近 1 週間の新規陽性者数の前週比は 1.13 となっている。
 - ✓ 一般病床の使用率は 96.6%となっている。
 - ✓ 直近 1 週間の人口 10 万人あたりの新規陽性者数は 360.17 で、全国平均（327.72）を上回っている。
 - ✓ 北部、宮古以外の地域では前週比が 1.0 を超えており、感染が拡大している。
 - ✓ 新規感染者に占める 60 歳以上の割合は徐々に減少してきている。
 - ✓ 重症者・中等症者の減少も続いている。
 - ✓ 2月中旬以降、医療従事者の就業制限数は増加している。
 - ✓ 2/28 の週の飲食店が推定感染源となっている感染者数は 104 人となっており、増加に転じている。
 - ✓ 2/28 の週における県外からの移入例は 34 人となっており、先週から 8 名増加している。
- 総括情報部から、疫学統計・解析委員会からの報告資料について報告。
 - ✓ 沖縄県疫学・統計解析委員会の分析によると、実効再生産数については、沖縄本島 1.16、宮古 0.85、八重山 1.29 となっており、全県的に増加傾向にある。
 - ✓ 年代別で見ると、特に 20 代、50 代で大きく増加しているが、80 代以上の高齢者では減少が続いている。
 - ✓ 保健所の疫学調査によれば、保育・幼稚園児、小学生、中学生、高校生の全て

において、友人からの感染が増えてきている。

- ✓ 入院率は年齢とともに上昇する傾向にあり、70代で20.2%、80代で39.0%、90歳以上で42.4%となっている。
- ✓ ワクチン接種回数別に入院率を比較すると、40-59歳、60-79歳、80歳以上のどの階級においても、3回接種者は2回接種者より低く（60-79歳、80歳以上は統計学的有意差あり）、2回接種者は未接種もしくは1回接種者よりも低く（統計学的有意差あり）になっている。
- ✓ 全体での新規陽性者数は増加しているが、入院患者数は横ばいを保っている。これは、介護現場での感染予防、高齢者への3回目のワクチン接種率が約60%まで進んだことが影響している可能性がある。
- ✓ 今後、卒業式や送別会など多人数の交流、春休みにおける移動の増加により、第7波へと至る可能性が高いと考えられる。

（4）宿泊施設の運用状況について【資料4】

- 総括情報部から、宿泊療養施設の入居状況等について報告。
 - ✓ 那覇市内では4施設が稼働しており、426名が療養している。
 - ✓ 中部地区では1施設が稼働しており87名が療養している。
 - ✓ その他に、北部で34名、宮古で26名、八重山で20名が宿泊施設療養中となっている。

（5）沖縄県人口変動状況について【資料5】

- 総括情報部から、KDDI Location Analyzerによる分析結果を報告。
 - ✓ 繁華街エリア、空港エリアでは人流が増加、商業エリアでは減少となっている。

(6) クラスターの発生状況について【資料 6】

- 時間の都合上、説明を割愛。

(7) 宮古・八重山地域の感染状況について【資料 7】

- 宮古地方本部から宮古地域の感染状況等について報告。
 - ✓ 宮古では毎週 70 人程度の感染者が確認されており、人口 10 万人あたりの新規感染者数は 130 人程度の状況が続いている。
 - ✓ 年齢別で見ると、60 歳以上が占める割合は 16%程度と減ってきているが、30 代、40 代は増えてきている。
 - ✓ 来島した大学生によるクラスターが確認されており、経過を観察している。
 - ✓ 当該大学生達は渡航前の検査を行っておらず、再度周知を行う必要がある。
 - ✓ その他の管内施設でのクラスターは収束してきている。
 - ✓ 管内での感染事例を調査したところ、再感染があった割合は 2%程度であり、思ったより少ない印象である。
- 八重山地方本部から八重山地域の感染状況等について報告。
 - ✓ 八重山の人口 10 万人あたりの新規感染者数は 390 人程度となっており、前週比も 1.0 を超えている。
 - ✓ 感染が拡大傾向にあることから、疫学調査を一部簡略化し、リスクのある集団への調査を重点的に行っている。
 - ✓ 自宅療養者は 223 名おり、その内 39 名が与那国町在住、5 名が竹富町在住となっている。
 - ✓ 年代別では 50 代の占める割合が増えているが、60 歳以上の高齢者は収束してきている。
 - ✓ 飲食店でのクラスターも確認されており、注意が必要である。

- ✓ 管内の保育施設でクラスターが確認されており、経過を注視している。

(8) PCR 検査事業の状況について【資料 8】

➤ 総括情報部から、検査事業実績について報告。

- ✓ エssenシャルワーカー定期 PCR 検査の実績について、2/26~3/4 は、介護関係者 9,339 人が受検した結果、25 人が陽性であった（陽性率 0.27%）。また、障害者施設関係者 5,703 人が受検した結果、36 人が陽性であった（陽性率 0.63%）。保育施設関係者については、2,210 人が受検した結果、11 人が陽性であった（陽性率 0.50%）。
- ✓ 安価な PCR 検査補助の実績について、2/25~3/3 は 2,479 人が受検した結果、陽性者 148 人、陽性率 5.97%であった。
- ✓ ワクチン検査パッケージの実績について、2/26~3/4 は 4,253 人が受検した結果、陽性者 185 人、陽性率 4.35%であった。
- ✓ 一般無料検査の実績について、2/26~3/4 は 18,209 人が受検した結果、陽性者 1,117 人、陽性率 6.13%であった。
- ✓ 学校 PCR 検査の実績については 2,915 人（154 校）が受検した結果、陽性者 128 人、陽性率 4.39%であった。

(9) ワクチン対策チーム進捗状況報告について【資料 9】

➤ 総括情報部から、住民向けワクチン接種進捗状況等について報告。

- ✓ 3/7 時点で 1 回目のワクチン接種が完了した人は 1,048,621 人となっており、接種率（県全体）は 70.6%となっている。
- ✓ 3/7 時点で 2 回目のワクチン接種が完了した人は、1,037,377 人となっており、接種率（県全体）は、69.6%となっている。
- ✓ 3/7 時点で 3 回目のワクチン接種が完了した人は、315,802 人となっており、

接種率（県全体）は、21.3%となっている。

※高齢者の接種数は 207,695 人（62.3%）となっている。

- ✓ 3/5 に久米島町で、5－11 歳の小児（117 名）に対する接種が実施されたほか、那覇市でも 3/12 に集団接種を開始する予定となっている。
- ✓ 3/8 時点で、高齢者に対する 3 回目の接種率が 70%を超えた自治体数は 22 となっている。

（10）空港 PCR 検査プロジェクト・TACO・RICCA の運用状況等について【資料 10】

- 文化観光スポーツ部から、空港 PCR 検査プロジェクト・TACO・RICCA の状況について報告。
 - ✓ 空港 PCR 検査プロジェクトについて、2/28 の週の受検者は 2,792 名で、その内 23 名が陽性であった。
 - ✓ 那覇空港抗原検査について、2/28 の週の受検者は 358 名で、陽性者は確認されなかった。
 - ✓ TACO について、2/28 の週のサーモグラフィー通過者は 139,176 人で、その内発熱者は 0 人であった。
 - ✓ RICCA について、3/4 時点の登録者数は 144,114 人となっている。

（11）その他報告事項について

- 病院事業局から、県立病院の状況等について報告。
 - ✓ 3/9 時点の県立病院の入院患者数は 75 人であり、新型コロナ病床の稼働率は 34.2%となっている。
 - ✓ 県立病院職員の休業者は、1/13 時点では 210 人であったが、3/8 時点では 89 人と減少している。

- ✓ 南部医療センター・子ども医療センターから、2/28 にクラスター（感染者 8 名）が発生したこと、患者及び職員について 2 回の検査を実施し、3/8 から制限を解除したことについて報告があった。
- ✓ 八重山病院からは、現在、非コロナ病床が逼迫しているとの報告があった。また、3 月下旬以降、人事異動等により人員、病床の確保に支障がでることを懸念しているとの報告があった。

3 議題

（1）「コロナ感染拡大警報」の発出について

➤ 総括情報部から、「コロナ感染拡大警報」の発出について説明。

◆ 現況について

- ✓ まん延防止等重点措置の解除以降、県全体の人口 10 万人あたりの新規陽性者数は増加傾向にあり、3/8 時点で 360.17 となっているが、病床使用率及び重症者用病床使用率は、まん延防止等重点措置解除時より低下している。
- ✓ 年代別で見ると、まん延防止等重点措置の解除以降、60 代未満の年代で新規陽性者数が増加している。
- ✓ まん延防止等重点措置の解除以降、飲食関係での感染も増えてきている。
- ✓ 地域別で見ると、沖縄本島及び八重山で感染が拡大しており、3/8 時点の人口 10 万人あたりの新規陽性者数は本島で 366.80、八重山で 397.92 となっている。
- ✓ また、新規陽性者 7 日間合計の前週比も沖縄本島では 11 日間連続で 1 を超えており、八重山も 7 日間連続で 1 を超えている。
- ✓ 特に八重山圏域で急速に拡大しており、3/4 には前週比が 2 を超えている。
- ✓ 2/28～3/6 の八重山圏域の実効再生産数は 1.29 となっている。

- ✓ 以上の状況から、改めてまん延防止等重点措置の必要性（特に八重山圏域）について検討する必要がある。

◆ まん延防止等重点措置区域の必要性の検討について

- ✓ 八重山圏域の流行については次の特徴がある。
 - ① 新規陽性者数の前週比は、一時的に2.0倍を超えたが、3/5以降は2倍未満に留まっている。
 - ② 病床使用率については、60%を上回っていたが、医療機関内でクラスターが発生したことに伴うものであり、現在は下降傾向にある。重症者は確認されていない。
 - ③ 65歳以上へのワクチン3回目接種については、県内で最も進捗している（3/6時点75.9%）。
 - ④ 80代未満の全ての年代で新規陽性者数が増加傾向にあり、特に10歳未満、30代、50代において前週比3倍以上となっている。
 - ⑤ 飲食を感染源とする陽性者数は先週1週間に12人であり、先々週の3人から増加している。
 - ⑥ 今後、人の移動や送別会など、感染拡大リスクが高まるシーズンを迎える
- ✓ 上記①～③の事項から、現時点では重点措置区域の指定を見送ることとする。
- ✓ ただし、④～⑥の事項から、今後の状況を注視し、感染拡大を警戒する必要があることから、引き続き地元自治体の意向等を確認しながら重点措置指定要請の必要性について検討するほか、八重山圏域における警戒感を高めるため「コロナ感染拡大警報」を発出する。

◆ コロナ感染拡大警報について

- ✓ 新型コロナウイルスの感染者が増加傾向にあり、医療の逼迫が懸念される八

重山圏域（石垣市、竹富町、与那国町）に対し「コロナ感染拡大警報」を発出し、次の事項について注意、協力を呼びかける。

- ① 混雑している場所、換気の悪い施設への外出を控えること。
- ② 送別会・卒業パーティに注意すること（飲食なし開催または事前検査の実施）。
- ③ 会食は4人以下・2時間以内・感染防止対策認証店を利用すること。
- ④ 体調不良時は出勤・登校・登園等を控えること。
- ⑤ ワクチン接種（初回及び追加接種）を受けること。

（議題（1）に関する発言等について）

- ✓ コロナ感染拡大警報を解除する際の基準等について質問があった。
→総括情報部から、コロナ感染拡大警報については解除基準を設定せず、2週間の期間とすることを説明。
- ✓ コロナ感染拡大警報を出す基準について質問があった。
→総括情報部から、警報を出す基準は設定されていないが、県の対処方針において感染拡大の兆候が見られる際は警報を出すとしていることから、今回、八重山圏域に対する警報発出について提案したことを説明。
- ✓ 八重山圏域では病院内のクラスター発生に伴い病床使用率が急激に上昇しているが、病院内クラスターが無ければ病床使用率は大きく増えないと考えてよいのか質問があった。
→総括情報部から、病院内でクラスター発生した場合、新型コロナウイルスが軽症であったとしても、別の病気で入院していたときは入院率に反映されることから、病床使用率が急激に上昇しやすい傾向があること、市中感染であれば病床使用率の上昇は穏やかになるものの、院内クラスターと同時期に市中感染者が増えると医療逼迫のおそれがあることから注意が必要であることを説明。

- ✓ 八重山圏域では周辺離島にも感染が広がる恐れがあることから注意が必要との意見があった。
 - ✓ 高山政策参与から、県内でもオミクロン株 BA.2 の発生が確認されていること、オミクロン株 BA.2 への置き換わりが進んだ場合、急拡大する恐れがあることから注意が必要であるとの報告があった。
 - ✓ 総括情報部から、まん延防止等重点措置の要請ではなく、コロナ感染拡大警報の発出とすることについて石垣市の意向を確認済みであることを報告。
 - ✓ 竹富町及び与那国町に対しても事前説明をしたほうが良いとの意見があった。
→総括情報部から、両自治体に対しても事前説明を実施すると回答。
 - ✓ 文化観光スポーツ部から、八重山圏域に警報が発出された場合でも、おきなわ彩発見キャンペーンは継続予定であることを説明。
※おきなわ彩発見キャンペーンについては県警戒レベル3A相当以上で一時停止
- 議題（1）について検討した結果、八重山圏域に対し「コロナ感染拡大警報」を発出し、感染拡大防止について呼びかけることを決定した。

4 その他

（1）オミクロン株 BA.2 の発生について

- 総括情報部から、オミクロン株 BA.2 の発生について報告。
 - ✓ 3/4 に新型コロナウイルス陽性者 48 名の検体について検査したところ、2 名について県内初のオミクロン株 BA.2 が確認された。
 - ✓ また、3/8 にも 3 名について、オミクロン株 BA.2 が確認された。
 - ✓ オミクロン株 BA.2 が確認された 5 人の内、1 名が基地関係者、1 名が施設職員であった。
 - ✓ 県では、衛生環境研究所におけるゲノム解析を週 1 回 48 検体から週 2 回 96 検

体に増加し検査体制を強化している。

(その他(1)に関する発言等について)

- ✓ オミクロン株 BA.2 の兆候を掴むためにゲノム検査を増やすことはできないか質問があった。

→総括情報部から、検体輸送にかかる人員等の制限があるため、現在のところ週96回の検査としていること、検査能力の強化については検討を続けることを説明。

5 閉 会